

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	946	市単消防施設整備事業	会計	01	一般会計
基本施策	16	火災を防ぎ、市民の命を救う	款	09	消防費
			項	01	消防費
			目	03	消防施設費
担当部課名	消防救急課		細目	101	消防施設整備事業
作成者氏名	豆本 弘文	連絡先	細々目	03	市単消防施設整備事業
		24-9102			

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	消防施設(防火水槽・ポンプ庫)、消防設備(消防団車両・ポンプ)、消火栓の新設修繕等	消防施設、消防設備等の点検、更新、修繕、維持管理を行うことで、施設設備の機能を保持し災害時の活動に役立てて、住民の被害軽減を図る。
本年度事業内容	防火水槽漏水補修・修繕3箇所 防火水槽補修用資材8箇所 ポンプ庫修理3箇所 ホース乾燥柱設置2箇所、修理4箇所 消火栓の新設39箇所、更新53箇所、修理9箇所などを実施、維持管理を図っている。	
運営主体	直営 指定管理 民間委託等 (委託先: )	根拠法令・要綱等 消防組織法
市内の類似施設		

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	0.4	0.4	0.4
	人件費合計(A)	2,880	2,880	2,880
支出内訳 (千円)	事業費(B)	34,446	28,805	28,805
	工事請負費	2,599	8,453	8,453
	原材料費	669	1,050	1,050
	繰出金	29,235	17,000	17,000
	その他	1,943	2,302	2,302
合計(A+B)		37,326	31,685	31,685
財源内訳 (千円)	特定財源	国県支出金		
		受益者負担		
		その他特財		
	一般財源	37,326	31,685	31,685
上記 ~ に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
防火水槽漏水・修繕	箇所	3	4	4			
ポンプ庫新設	箇所	0	3	3			
ホース乾燥柱設置	箇所	2	2	2			
消火栓の設置	箇所	39	30	30			
消火栓の更新	箇所	53	30	30			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
故障、破損による修繕等については、発生が見込めないことから指標を設けない。			目標 ( )		
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

旧市町村ではそれぞれ多様な対応方法であったものを、合併後一体化を図った基準を設け事業を遂行している。対象施設が多く多額の経費を必要とすることから、全ての消防施設・設備で機能を維持できるよう、一部住民の協力を得て事業を推進しています。
--

評価	必要性	4	災害時の初動体制確保上からは、消防施設・設備の維持管理は必用不可欠な事業であります。しかし、対象施設・設備も多いことから、事前に改修などの対策を立てることは困難ですが、一部地域住民の協力も得て継続的に推進する。	総合評価 <b>A</b>
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	4		